

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

国語

科目 現代の国語

教科： 国語

科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者： () () ()

使用教科書： (第一学習社「高等学校 現代の国語」)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、多文化・他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるように。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や多文化共生社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者や多文化共生社会との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、自己を向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
前期	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	○			・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	○	○	○	4
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 評論のしるべ	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	○	○	○	・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	12
	待遇表現	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。	○			・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1	
後期	無彩の色（港千尋） 評論のしるべ	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	情報の探索と選択	・必要な情報を探す方法を理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。		○		・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 ・進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ	・「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・内容や構成を叙述を基に捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	○	○	○	本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握している。 内容や構成を叙述を基に捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1

合計

56